



大西 厚子
公明党議員団 (2)

★一般質問で病児・病後児保育について質問。市に在園児を対象とした体調不良児対応型の事業しかない現状をふまえ、在園児に限らず、他の幼児・児童も受け入れる病児対応型と病後児対応型の早期設置を求めました。令和2年度からの第2期「子ども・子育て支援計画」で示すと答弁がありました。

★低出生体重児に対応できる母子健康手帳については、母子手帳と一体的に活用できる別冊作成を求め、本市のはぐねつとを編集し一体的に使える別冊の作成を検討すると答弁がありました。

★まご育てのガイドブック「まごナビ!」の継続を求め、配布を検討すると答弁がありました。

★ほかに、市の動物の愛護と管理に関する条例策定の提案、スクーリングの効果的な安全対策として、時間設定による車両通行規制について質問しました。



大野 正和
公明党議員団 (1)

★市民の皆様の負託を受けまして、議員として働かせていただくこととなりました。「市民の皆様の小さな声を、私自身の大きな声に変えて、市政にお届けしてまいります。」との約束を一瞬たりとも忘れず、新人らしく元気いっぱい、身を粉にして、市民のために働きます。よろしくお願いいたします。

★「一般質問」公園の維持管理費用を質問。4億9千万円かかっていることをふまえ統廃合などの費用削減をした上で自転車乗り入れ可能な「交通公園」の設置を提案。

★防犯カメラを今後5カ年計画のうち、公園・通学路から優先的に設置するよう提案。いじめなど、子ども相談をSNSにも拡充するよう提案。全ての質問において前向きな答弁がありました。

★【議案審議】【常任委員会】「特別委員会」も全てに質問し市民の皆様の声をお届けしました。



小野寺幸恵
日本共産党市議団 (5)

★苦小牧市は、人口が減っていても税収が増えており、地元で頑張るみなさんのおかげだと思っています。

★市長は、20年先も食べていける苦小牧にするためにカジノを含むIRにチャレンジしたいといっています。私は、地元の中企業のみなさんやそこで働くみなさんを応援することで、元気なまちにしたいと思っています。そのためには、振興策に力を入れること、中小企業振興計画を発展させることだと考えています。

★地元で汗水流して納めてくれた大事な税金で、子育て支援や高齢者施策に取り組み、安心して暮らせる苦小牧にしたいと思います。

★私のモットーは市民のみなさんの声を聞き、その声を届けて市政に生かすことです。任期4年間、その役割を果たせるよう、全力で頑張ります。



金澤 俊
新 緑 (4)

★厚生常任委員会にて市がおこなっている歯周病検診について質問と提案をしました。

予防医療、健康増進の一環として取り組まれているこの事業は、平成28年度から開始し、受診者数と受診率は着々と数字を伸ばしてきています。

これに伴い、歯槽膿漏など歯周病の予防につながるものと思っています。

しかし、一部専門家からは、現行の「10年に一度」の受診機会から「毎年の検診」にすることで、より予防効果が高くなるとの意見もいただいています。

★市側との議論の中では、受診機会を増やすことにより予防の効果も見込まれる一方で、経費の増加が見込まれることから、費用対効果を含めた財政協議をおこなった上で受診機会を増やす検討が必要であることが明らかとなりました。